

付録

付録 1：インターフェース評価実験 事前調査表

付録 2：有効性検証実験 実験内容説明文

付録 3：有効性検証実験 事前調査表

付録 4：有効性検証実験 事後調査表

(付録 1：インターフェース評価実験 事前調査票)

被災地における被災者・支援者間の情報流通支援システム
インターフェース実験 調査票

2002年1月8日
慶應義塾大学 環境情報学部 尾崎 祥子

被災地における被災者・支援者間の情報流通支援システム(SSCS)は、被災者が必要とするサービスに関する情報を、提供するためのシステムです。既存のマスメディアではカバーしきれない、地域に密着した生活情報などを、広く支援者や被災者から収集し、その情報に対する正誤や追加情報もあわせて収集・提供します。

本システムの使い勝手を評価する「インターフェース実験」にご協力いただいた皆様には、実験に関するアンケート調査へのご協力をお願いいたします。本アンケート調査は、実験にご協力いただく皆様が現時点で有している「携帯電話や WWW 利用の頻度及び経験」に関しておたずねするものです。

なお、調査の結果は結果だけを集計した後に統計処理を行いますので、皆様の個別情報が公開されることはありません。

あなたの属性について

- 1.年齢： 20 歳以下 ・ 21～25 歳 ・ 26～30 歳 ・ 31～35 歳 ・ 36～40 歳 ・ 41～45 歳 ・ 46～50 歳 ・ 51 歳以上
- 2.性別： 男 ・ 女
- 3.職業： 社会人 ・ 学生 ・ 主婦 ・ その他

携帯電話の通話に関して

- 1.携帯電話の通話利用期間はどのくらいですか： _____年_____ヶ月
- 2.携帯電話の通話利用頻度はどの程度ですか：
月に 2～3 回以下 ・ 週に 1 回 ・ 週に 2～3 回 ・ 週に 5～6 回 ・ 毎日

携帯電話でのメール利用に関して

- 1.携帯電話からメールを送信したことがありますか： はい ・ いいえ
- 2.携帯電話を使ったメールの送信を始めてどれくらいになりますか： _____年_____ヶ月
- 3.携帯電話を使ってメールを送信する頻度はどの程度ですか：
月に 2～3 回以下 ・ 週に 1 回 ・ 週に 2～3 回 ・ 週に 5～6 回 ・ 1 日 1 回 ・ 1 日 2～3 回 ・ 1 日 5 回以上

携帯電話からの WWW 利用に関して

- 1.携帯電話を使って WWW を利用したことがありますか： はい ・ いいえ
- 2.携帯電話を使った WWW 利用を始めてどれくらいになりますか： _____年_____ヶ月
- 3.携帯電話による WWW 利用の頻度はどの程度ですか：
月に 2~3 回以下 ・ 週に 1 回 ・ 週に 2~3 回 ・ 週に 5~6 回 ・ 毎日
- 4.携帯電話による WWW 利用には 1 回あたりどの程度の時間をかけますか：
(1 日に何度も WWW を利用する場合は 1 日の合計量で教えてください)
5 分以下 ・ 30 分程度 ・ 1 時間 ・ それ以上

パソコンなど携帯電話以外でのメール利用に関して

- 1.パソコンなど携帯電話以外からメールを送信したことがありますか： はい ・ いいえ
- 2.パソコンなどを使ったメールの送信を始めてどれくらいになりますか： _____年_____ヶ月
- 3.パソコンなどを使ってメールを送信する頻度はどの程度ですか：
月に 2~3 回以下 ・ 週に 1 回 ・ 週に 2~3 回 ・ 週に 5~6 回 ・ 1 日 1 回 ・
1 日 2~3 回 ・ 1 日 5 回以上

パソコンなど携帯電話以外からの WWW 利用に関して

- 1.パソコンなど携帯電話以外を使って WWW を利用したことがありますか： はい ・ いいえ
- 2.パソコンなどを使った WWW 利用を始めてどれくらいになりますか： _____年_____ヶ月
- 3.パソコンなどによる WWW 利用の頻度はどの程度ですか：
月に 2~3 回以下 ・ 週に 1 回 ・ 週に 2~3 回 ・ 週に 5~6 回 ・ 毎日
- 4.パソコンなどによる WWW 利用には 1 回あたりどの程度の時間をかけますか：
(1 日に何度も WWW を利用する場合は 1 日の合計量で教えてください)
5 分以下 ・ 30 分程度 ・ 1 時間 ・ それ以上

ご協力ありがとうございました。

被災地における被災者・支援者間の情報流通支援システム 運用実験について

システムの概要

被災地における被災者・支援者間の情報流通支援システム(SSCS)は、携帯端末を利用して、被災者が必要とするサービスに関する情報を収集・提供するためのシステムです。既存のマスメディアや公式情報ではカバーしきれない、地域に密着した生活情報などを、広く支援者や被災者から迅速に収集・提供します。また、その情報に対する正誤や追加情報も追加することが可能です。

実験の主旨

この実験では、多くの方に当該システムを使っていただき、システムの有効性を調査することを目的としています。

実際の災害発生を想定して、実際にシステムを使っていただければ幸いです。

なお、現在インターフェースは試行錯誤の段階です。このため、まだ使いづらい点などもあるかと思いますが、今回の実験は細かいインターフェースの調整を目的としたものではありません。

今回の実験では**何度もゆっくりご利用いただき**、十分に慣れた状態で実験を行っていただければと思います。

システムは 1 月 12 日より運用いたします。システムへの負荷実験も兼ねておりますので、特に 1 月 15 日から 1 月 17 日にかけて集中したアクセスをお願いいたします。

参加方法

実験に参加していただく方に対する制限は特にありません。携帯電話やPDAなどの移動体端末や、パソコンなどにより WWW へのアクセスが可能であれば、どなたにも参加していただくことができます。

実験全体の流れは次のようになります。

- ?? 実験前アンケートへの回答 (ページ数 2 ・所要時間 約 5 分)
- ?? システムを実際に利用 (慣れるまで時間を掛けていただいても結構です)
- ?? 実験後アンケートへの回答 (ページ数 2 ・所要時間 約 10 分)

尚、各手順は続けて行っていただく必要はありません。

ただし実験後アンケートにつきましては、できるだけシステムを利用された直後にご回答いただけますようお願いいたします。

アンケート調査について

本システムの運用実験にご協力いただく皆様には、実験に関するアンケート調査へのご協力をお願いいたします。アンケート調査は実験前と実験後の2度行います。

[実験前のアンケートはこちらから](#)

[実験後のアンケートはこちらから](#) (1月17日より実施)

システムについて

今回の実験でご利用いただくエリアは架空のものです。検索・登録の際には、ご自分がそこに住んでいるつもりになって、適当に場所をお選びください。

まずシステム自体に慣れていただくために、最初は「検索」からのご利用を推奨いたします。

検索に慣れてきましたら、サービスの登録も合わせて行ってください。架空のサービスを入力していただいて結構です。実際に被災地にいるつもりになって、ありそうなサービス、行いたいサービス等をご登録ください。

また、新しいランドマークの登録も可能です。既に登録されているランドマーク等を参考に、架空のランドマークを入力していただいて結構です。

なおシステムへは、一般のブラウザからも、携帯電話やPDAからも同じものにアクセスできます。

[システムの利用\(実験開始\)はこちらから](#)

実験責任者

システム及び実験内容等に関する問い合わせは、慶應義塾大学 環境情報学部 4年 尾崎 祥子 (poco@sfc.wide.ad.jp) までお願いします。

尾崎 祥子 (poco@sfc.wide.ad.jp)

被災地における被災者・支援者間の情報流通支援システム 運用実験事前調査票

被災地における被災者・支援者間の情報流通支援システム(SSCS)は、被災者が必要とするサービスに関する情報を、提供するためのシステムです。既存のマスメディアではカバーしきれない、地域に密着した生活情報などを、広く支援者や被災者から収集し、その情報に対する正誤や追加情報もあわせて収集・提供します。

本システムの運用実験にご協力いただく皆様には、実験に関するアンケート調査へのご協力をお願いいたします。アンケートは実験前と実験後の2度行います。1度目の本アンケート調査は、実験にご協力いただく皆様の被災経験等についておたずねするものです。

なお、調査の結果は結果だけを集計した後に統計処理を行いますので、みなさまの個別情報が公開されることはありません。

あなたの属性について

1. 年齢

- 20歳以下 21～25歳 26～30歳 31～35歳
 36～40歳 41～45歳 46～50歳 51歳以上

2. 性別

- 男 女

3. 職業

- 会社員 自営業 公務員 学生 主婦
 その他

4. 住んでいる地域

県 市

5. 名前とパスワード

実験前と実験後での意識の変化を調査するために使用します。パスワードで情報を守るわけではありませんので、覚えやすい簡単なもので結構です。

ローマ字名: パスワード:

被災経験について

1. 大規模な災害での被災経験はありますか

はい

... 災害名:

- 関東大震災 阪神淡路大地震 三宅島噴火 有珠山噴火
 その他

いいえ

2. 大規模な災害での支援活動経験はありますか

はい

... 災害名:

- 関東大震災 阪神淡路大地震 三宅島噴火 有珠山噴火
 その他

いいえ

3. 大規模な災害を経験された方にお尋ねします

a. 災害発生当時あなたがいた場所を、差し支えない範囲で書いてください

県 市 地区

b. 避難生活を送った場所を、差し支えない範囲で書いてください

災害発生時と同じ

災害発生時とは異なる

県 市 地区

災害時の行動について

1. あなたが被災して避難所での避難生活を送ることになった場合、どの程度の距離なら物資の配給を受けたり、サービスを受けたりするのに徒歩で移動しても良いと思いますか

避難所からは移動したくない

往復 15 分以下 往復 30 分以下 往復 45 分以下 往復 1 時間以下

往復 2 時間以下 往復 3 時間以下 往復 4 時間以下 往復 6 時間以下

- 往復 8 時間以下 それ以上かかってでも移動する

2. 以下のそれぞれの人に対して、どのような状況下でなら、あなたは自分が得た情報を提供しても良いと思いますか

a. 家族に対して

- いつでも教える
 教えてしまうことによって自分が不利益をうける時(得られる物資やサービスが受けられなくなるなど)以外は教える
 自分がそのサービスを必要としている時以外は教える
 教えたくない

b. 普段親しくしている人に対して

- いつでも教える
 教えてしまうことによって自分が不利益をうける時(得られる物資やサービスが受けられなくなるなど)以外は教える
 自分がそのサービスを必要としている時以外は教える
 自分や家族がそのサービスを必要としている時以外は教える
 教えたくない

c. 近所に住んでいた人に対して

- いつでも教える
 教えてしまうことによって自分が不利益をうける時(得られる物資やサービスが受けられなくなるなど)以外は教える
 自分がそのサービスを必要としている時以外は教える
 自分や家族及び親しい人がそのサービスを必要としている時以外は教える
 教えたくない

d. 一緒に避難生活を送っている人に対して

- いつでも教える
 教えてしまうことによって自分が不利益をうける時(得られる物資やサービスが受けられなくなるなど)以外は教える
 自分がそのサービスを必要としている時以外は教える
 自分や家族及び親しい人がそのサービスを必要としている時以外は教える
 教えたくない

e. 被災地にいる全ての人に対して

- いつでも教える
- 教えてしまうことによって自分が不利益をうける時(得られる物資やサービスが受けられなくなるなど)以外は教える
- 自分がそのサービスを必要としている時以外は教える
- 自分や家族及び親しい人がそのサービスを必要としている時以外は教える
- 教えたくない

3. 以下のそれぞれの人に対して、どれくらい離れた場所の情報までなら、あなたは自分が得た情報を提供しますか。情報を提供する場合全てに印をつけてください。

相手	徒歩でかかる時間									
	15分以下	30分以下	45分以下	1時間以下	2時間以下	3時間以下	4時間以下	6時間以下	8時間以下	それ以上
家族	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
普段親しくしている人	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
近所に住んでいた人	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
一緒に避難生活を送っている人	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
被災地にいる全ての人	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

災害時の情報収集経験について

災害経験者の方 及び 災害経験者から被災時の話を聞いたことがある方にお尋ねします。
 (非経験者・被災時の話を聞いたことがない方 ? [質問 へ](#) [ここをクリック](#))

伝聞の場合 ... 話を聞いた相手が被災した災害名 :

- 関東大震災
 阪神淡路大地震
 三宅島噴火
 有珠山噴火
 その他

1. 被災時どのような手段で情報を得ましたか。最も利用したものに を、それ以外の手段に をつけてください。

経路名	? (1 つのみ選択)	? (複数選択可)
ラジオ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
テレビ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
新聞	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
行政による臨時情報紙	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ボランティアによる情報紙	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
掲示板	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
口コミ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
パソコン通信	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Web	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
メール	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

その他 <input type="text"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	-------------------------------------	--------------------------

2. 情報収集を行う際、不便だと感じたのはどのような点ですか。それぞれの経路に対して不満な点を順に3つまで選択してください。

	最も不便だと感じた点	2番目に不便だと感じた点	3番目に不便だと感じた点
ラジオ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
テレビ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
新聞	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
行政による 臨時情報紙	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
ボランティア による情報紙	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
掲示板	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
口コミ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
パソコン通信	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
Web	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
メール	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

3. 被災生活を送る中で、欲しいと思った物資やサービスは何ですか。
また、それらの物資やサービスがなかったことによって感じた不自由はどの程度でしたか。

物資・サービス名	不自由と感じた度合い			
	非常に不自由だった	不自由だった	一部不自由だった	どちらかといえば不自由だった
<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

??? これより下の質問には、被災経験のない方もご回答ください。 ???

災害時の情報交換システムについて

1. テレビやラジオの他に、携帯端末を利用して生活情報を提供する仕組みは必要だと思いますか

- はい
... 理由:
- いいえ
... 理由:
- わからない
... 理由:

2. 災害時にメールを使って生活情報が配信される仕組みがあったら利用したいと思いますか

- はい いいえ わからない

a. それはなぜですか



b. 「いいえ」あるいは「わからない」を選択した方におたずねします。
メール以外の手段を利用するならば、どのようにして情報を得ますか。



3. 携帯端末から WWW を使うことで生活情報を得られる仕組みがあったら利用したいと思いますか

はい いいえ わからない

a. それはなぜですか



b. 「いいえ」あるいは「わからない」を選択した方におたずねします。
これ以外の手段を利用するならば、どのようにして情報を得ますか。



4. 災害時に被災者と被災者支援を行う支援者などが、迅速に情報交換を行える仕組みは必要だと思いますか

はい

... 理由:

いいえ

... 理由:

わからない

... 理由:

被災地における被災者・支援者間の情報流通支援システム 運用実験事後調査票

被災地における被災者・支援者間の情報流通支援システム(SSCS)は、被災者が必要とするサービスに関する情報を、提供するためのシステムです。既存のマスメディアではカバーしきれない、地域に密着した生活情報などを、広く支援者や被災者から収集し、その情報に対する正誤や追加情報もあわせて収集・提供します。

本システムの運用実験にご協力いただいた皆様には、実験に関するアンケート調査へのご協力をお願いいたします。2度目の本アンケート調査は、実験にご協力いただいた皆様に当該システムの有効性に関しておたずねするものです。

なお、調査の結果は結果だけを集計した後に統計処理を行いますので、みなさまの個別情報が公開されることはありません。

0. 実験事前調査表からの確認

1. 実験事前調査票へのご記入はお済みですか

はい いいえ

2. 実験事前調査票に記入されたものと同じ、お名前とパスワードを入力してください

ローマ字名: パスワード:

3. 名前・パスワードを忘れた方及び実験事前調査票への記入がお済みでない方には、こちらからご連絡を差し上げます。
連絡先のメールアドレスを入力してください。

連絡先メールアドレス:

理由: 名前・パスワードを忘れた
 実験事前調査表への記入を行っていない
 その他

1. システムの使用感について

1. あなたが本システムを利用した環境を以下から全て選択してください

携帯電話から PDA から パソコンの Web ブラウザから
 その他

2. あなたが使った本システムの機能を以下から全て選択してください

- 被災者支援サービス情報の検索 被災者支援サービス情報の登録
 被災者ニーズの検索 被災者ニーズの登録

3. 説明の記述で分かりづらかった、あるいは理解するのに多くの時間を必要とした表現はありましたか

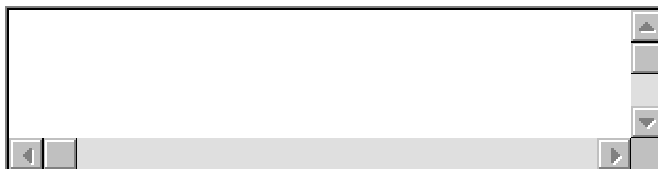
- はい いいえ

「はい」を選択した方におたずねします

a. どの部分が分かりづらいと思われましたか



b. 具体的にはどのように分かりづらかったでしょうか



4. 操作をしていて使いにくかった、あるいは操作方法を理解するのに多くの時間を必要とした部分はありましたか

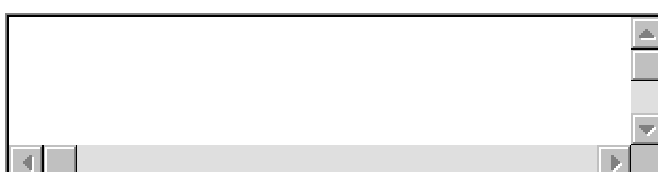
- はい いいえ

「はい」を選択した方におたずねします

a. どの部分が分かりづらいと思われましたか



b. 具体的にはどのように分かりづらかったでしょうか



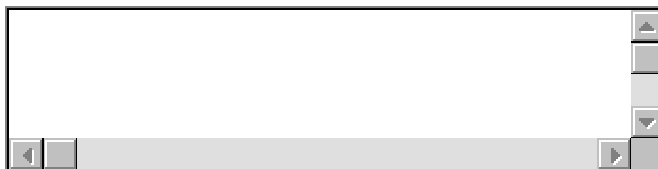
5. 本システムは、全体としてあなたにとって使いやすかったですか

- 非常に使いやすかった
- 使いやすかった
- どちらかといえば使いやすかった
- どちらともいえない
- どちらかといえば使いづらかった
- 使いづらかった
- 非常に使いづらかった

a. どの部分が使いづらいと思われましたか



b. aでご指摘いただいた部分は具体的にどのように使いづらかったでしょうか



システム全体の有効性について

1. 被災者支援サービス情報を登録する際にかかった手間をどう思いますか

- 手間がかかるので大変だった
- 手間はかかったが気にならない
- 手間はかからなかったが大変だった
- 手間がかからなかったので楽だった
- 登録を行っていないので分からない
- その他

2. 被災者支援サービス情報を検索する際にかかった手間をどう思いますか

- 手間がかかった上満足できる内容が得られなかった
- 手間はかかったが満足できる内容が得られた
- 手間はかからなかったが満足できる内容は得られなかった
- 手間がかからなかった上満足できる内容が得られた

- 検索を行っていないので分からない
- その他

3. **被災者ニーズを登録**する際にかかった手間をどう思いますか

- 手間がかかるので大変だった
- 手間はかかったが気にならない
- 手間はかからなかったが大変だった
- 手間がかからなかったので楽だった
- 登録を行っていないので分からない
- その他

4. **被災者ニーズを検索**する際にかかった手間をどう思いますか

- 手間がかかった上満足できる内容が得られなかった
- 手間はかかったが満足できる内容が得られた
- 手間はかからなかったが満足できる内容は得られなかった
- 手間がかからなかった上満足できる内容が得られた
- 検索を行っていないので分からない
- その他

5. 本システムが災害時に運用されていたとして、被災者にとって役に立つと思いますか

- はい いいえ わからない

「いいえ」または「わからない」を選択した方におたずねします

- a. 本システムが被災者にとって役に立たないと思われる理由を教えてください

- b. 本システムのどの部分がどのように改善されれば被災者にとって役に立つものになると思いますか。
あるいは今の機能以外にどんな機能があれば被災者にとって役に立つものになると思いますか。

6. 本システムが災害時に運用されていたとして、支援者にとって役に立つと思いますか

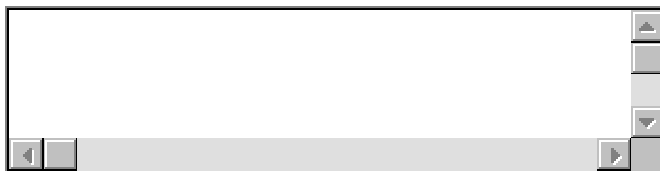
- はい いいえ わからない

「いいえ」または「わからない」を選択した方におたずねします

- a. 本システムが支援者にとって役に立たないと思われる理由を教えてください

A rectangular text input field with a light gray background and a thin black border. It has a scroll bar on the right side and a small gray button with a right-pointing arrow at the bottom right corner.

- b. 本システムのどの部分がどのように改善されれば支援者にとって役に立つものになると思いますか。
あるいは今の機能以外にどんな機能があれば支援者にとって役に立つものになると思いますか。

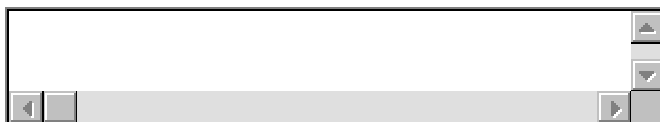
A rectangular text input field with a light gray background and a thin black border. It has a scroll bar on the right side and a small gray button with a right-pointing arrow at the bottom right corner.

7. 災害時に、あなたは本システムを使いたいと思いますか

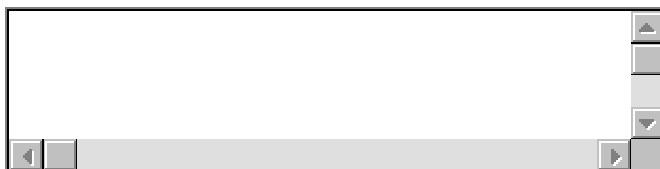
- はい いいえ わからない

「いいえ」または「わからない」を選択した方におたずねします

- a. 本システムを使いたくないと思われる理由を教えてください

A rectangular text input field with a light gray background and a thin black border. It has a scroll bar on the right side and a small gray button with a right-pointing arrow at the bottom right corner.

- b. どのようなシステムであれば使いたいと思いますか。

A rectangular text input field with a light gray background and a thin black border. It has a scroll bar on the right side and a small gray button with a right-pointing arrow at the bottom right corner.

8. 平時に、あなたは本システムを使いたいと思いますか

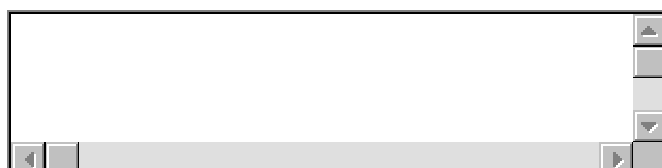
はい いいえ わからない

「いいえ」または「わからない」を選択した方におたずねします

a. 本システムを使いたくないと思われる理由を教えてください



b. どのようなシステムであれば使いたいと思いますか。



本システムが扱う情報について

1. あなたは災害時、自分が提供した被災者支援サービスの情報に対して、他の被災者や支援者から直接フィードバックを欲しいと思いますか。

(例: 自分が提供した支援情報に対して、変更や間違いの指摘があった際自動的に連絡が来る)

はい いいえ わからない

2. あなたは災害時、自分が自分が登録したニーズ情報に対して、他の被災者や支援者から直接フィードバックを欲しいと思いますか。

(例: 自分のニーズを登録しておいて、そのニーズに該当するサービスが開始されたら自動的に連絡が来る)

はい いいえ わからない

3. 1 および 2 で「はい」を選択した方におたずねします

a. 普通の掲示板において自分が提供した情報に対して直接フィードバックをもらうためには、自分を識別するために何らかの個人情報(例えば メールアドレス/電話番号/生年月日と氏名など)を掲示板を見る全ての人に対して公開しなければなりません。

本システムにおいても将来的には連絡用の個人情報を登録することで自分が提供した情報に対するフィードバックを得ることができるようになります。この場合、データベース内のみ情報を保持するため、連絡先の情報を他人に公開しない形でフィードバックが得られます。

これらを踏まえ、連絡先情報の公開とフィードバックの取得に関してあなたはどのようにお考えになりますか。

- フィードバックが得られるならば、個人情報公開されてしまってもよいから連絡先の情報を入力する
- 個人情報公開されるのはいやだが、システム内でのみ処理されるなら連絡先の情報を入力してもよい
- フィードバックが得られるとしても、個人情報は登録したくない
- その他

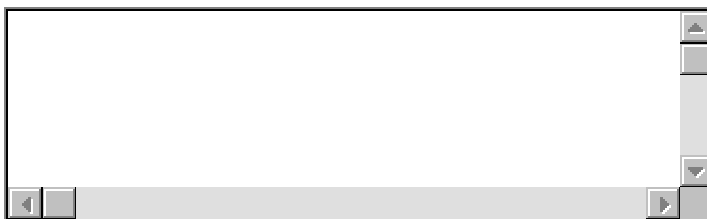


- b. 災害時、自分が提供した情報に対してフィードバックを得ることを目的とした場合、どのような個人情報なら公開しても構わないと思いますか。公開しても良いと思う項目を以下から全て選択してください。

- 氏名フルネーム
- ニックネーム
- イニシャル
- 生年月日
- 住所
- 固定電話番号
- 携帯電話番号
- Eメールアドレス
- 携帯電話メールアドレス

ご意見・ご感想

1. 最後に本システムに関してご意見・ご感想などございましたら、ご自由にお書きください。



ありがとうございました。質問は以上です。

この調査票及び実験に関する問い合わせ: 尾崎 祥子 (poco@sfc.wide.ad.jp)

参考文献

-
- [1] 小田貞夫「災害情報の伝達とメディアの役割」、『放送学研究』46号(1996年)、51-54頁
- [2] 同上資料、52頁 図8 情報ニーズと充足度
- [3] 災害用伝言ダイヤル インターネット情報(<http://www.ntt-east.co.jp/voiceml/>)に具体的な使い方や仕組みの説明などが公開されている
- [4] 中平邦彦「震災が示した『情報化社会』の弱点」、『ジュリスト』1070号(1995年)、31-33頁
- [5] 「デイリーニーズ」は1995年3月から「ウィークリーニーズ」として隔週発行情報紙となり、情報紙の発行元は「ピースポート」から地元のボランティア団体「すたあと長田」(<http://www4.airnet.ne.jp/start/>)に引き継がれた
- [6] 金子郁容「『つながり』の大研究」、NHK出版、1996年、112-117頁
- [7] 湯瀬裕昭、五十川直也、岩崎剛久、原田雅樹「インターネットによる学生の安否情報確認システム」、2000年、インターネットコンファレンス2000
- [8] 現在、WIDEプロジェクトによって運営されるIAAシステム(<http://www.iaa.wide.ad.jp/>)では実験のみを行い、実際の非常時向けのシステム(<http://iaa.ohanolab.org/>)は通信総合研究所非常時通信グループによって運用されている
- [9] 葛飾防災情報システム(<http://www.matsubara.com/bousai/sos-system.html>)
- [10] NTTによる「被災地情報ネットワーク」の説明(<http://www.ntt-east.co.jp/saigai/hansin/hisaiti/hisaiti.html>)
- [11] 自治体で実際に運用されている例として、藤沢市の「藤沢市防災情報ネットワーク」(<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/~bosai/>)が挙げられる
- [12] 災害掲示板(<http://plaza7.mbn.or.jp/~mic/>)
- [13] 彩の国災害時伝言版ネットワークシステム(<http://www.pref.saitama.jp/saigai/>)
- [14] 金子郁容「『つながり』の大研究」、NHK出版、1996年、34-35頁
- [15] 原淳次郎「いなかった被災情報の整理役」、朝日新聞東京版1995年3月11日夕刊
- [16] 救急医療情報研究会(<http://eml.amazing.co.jp/>)によるメーリングリスト
- [17] 東京メトロネット(<http://proteome.tmig.or.jp/saigai/>)による災害情報メーリングリスト
- [18] 中央医療情報メーリングリスト(<http://www.cminc.ne.jp/main/>)
- [19] 平塚千尋「災害情報とメディア」、リベルタ出版、2000年、135頁
- [20] ここで「なぜ(Why)」が抜けているのは、扱う情報が被災者支援に限定されたものであり、明記する必要がないからである。
- [21] 「平成12年 通信利用動向調査報告書 世帯編」、総務省、2000年、27頁
- [22] 金子郁容「コミュニティソリューション」、岩波書店、1999年、114-129頁